

「笑顔で元気に！つくろう新生七郷小！！」



おもだか

TEL 022 - 288 - 5024 FAX 022 - 288 - 5157

WEB <http://www.sendai-c.ed.jp/~sichi-el>

984-0032 仙台市立若林区荒井3丁目17-1

協働型学校評価重点目標

～「進んで挨拶し、正しい言葉遣いができる子供」の育成～

新型コロナウイルス感染症対策「七郷の約束」を実践します！！

以下に示す内容を実践しながら教育活動を進めてまいります。

教育活動全般

- ・感染予防について考えさせ、学校での望ましい行動を丁寧に指導します。
- ・教育活動において、マスクの着用を原則とします。
- ・校内における手洗い（登校時、外遊び後、給食前、トイレ後、共用の道具の使用後など）や咳エチケットなどの基本的な感染症対策の指導及び学校医や学校薬剤師等と連携した保健管理体制の整備を行います。
- ・日常において、3つの条件（換気の悪い密閉空間、多くの人々が密集、近距離での会話や発声）が同時に重なることを回避する対策はもちろん1つ1つの条件が発生しないように配慮します。
 - 可能な限り距離を確保した教室内の机の配置
 - 大声が発声しない、児童同士が接触しない活動内容の精選
 - 集団で集まる活動は自粛し、校内放送での実施などで対応
- ・児童や教職員等が外部の不特定多数の方と接触することが考えられる活動は当面自粛します。

感染防止策

保健（保健だよりも併せてご覧ください）

- ・登校前の検温や風邪症状の確認をしていない児童は、校舎に入る前に保健室前のテラスで検温及び健康観察を行います。その対応のため、当面の間学校を開ける時刻は7：50となります。
- ・登校後、発熱等の風邪の症状が見られる場合は保護者の方にご連絡します。
- ・発熱や風邪症状など体調がすぐれない場合のほか、保護者の方が不安を感じて登校させない場合も出席停止扱いとします。

給食

- ・グループによる食事は行わず、机の間隔をあけて前を向いて静かに食事するよう指導します。
- ・下膳する場所を分散させ、児童が密集しないようにします。

衛生

- ・気候上可能な限り教室は常時2方向の窓を同時に開けて換気の状態にします。エアコン使用時も換気を行います
- ・共用教材・教具・情報機器等を使用する際は、使用後に手洗いをさせます。
- ・児童下校後に教室内及び共用教材・教具・情報機器等の消毒作業をします。

学習指導

- ・感染症対策を講じてもなお感染の可能性が高い学習活動は当分の間実施しません。
 - 音楽科における狭い空間や密閉状態での歌唱指導や身体接触を伴う活動
 - 家庭科における調理等の実習
 - 体育科における児童が密集する運動や児童が近距離で組み合ったり接触したりする場面が多い運動
 - 児童が密集して長時間活動するグループ学習
- ・各教科の指導において、感染性の高い学習活動については指導順序の変更など指導計画の見直しを図ります。
- ・2～6年生は、令和元年度の学習内容について未履修になった事項についての対応も併せて進めます。
(内容等については4月15日におたよりでお知らせ済み)

～ 保護者の皆様の御協力をお願いいたします ～

マスクを必ず着用させて下さい。

予備のマスク、ハンカチ、ティッシュをランドセルに常時入れておいて下さい。

マスクを忘れた場合は不織布のマスクを職員室でお貸しします。翌日に新しい不織布のマスクを袋に入れてお返し下さい。

マスクの着用により、例年以上に熱中症が懸念されます。また、手洗いの回数が増えることから水飲み場の混雑も予想されます。以上のことから、水筒を各自持参するようお願いいたします。

登校後、以下の症状が見られる場合は保護者の方に連絡します。お迎えをお願いいたします。

体温が37.5 以上ある。

断続的な咳の症状があり、改善が見られない。

全身に倦怠感がある。

臭いや味が分からないと訴える。

児童の同居のご家族に感染者あるいは濃厚接触者が発生し、当該児童が濃厚接触者と特定された場合には、速やかに学校にお知らせ下さいますようお願いいたします。

感染症対策対応のため、当面の間、学校の開錠時刻を7時50分とします。また感染症予防のため校地内での放課後の外遊びはなしとさせていただきます。

「笑顔で元気に！つくろう新生七郷小！！」



おもだか

TEL 288-5024 FAX 288-5157
 WEB <http://www.sendai-c.ed.jp/~sichi-el>
 984-0032 仙台市立若林区荒井3丁目17-1

協働型学校評価重点目標

～「進んで挨拶し、正しい言葉遣いができる子供」の育成～

令和2年度協働型学校評価について

協働型学校評価とは、学校・家庭・地域の三者が、児童の現状や課題から重点目標を設定し、それぞれの立場から改善活動に取り組み、「児童のよりよい姿」を目指す取組です。三者がそれぞれの立場で、実践可能な改善活動に取り組み、児童の健全な育成を目指していきたく願っております。本校でも、職員一丸となって取り組んで参りますが、各御家庭・各地域の皆様も下記の取組をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。なお、今年度は新型コロナウイルスの流行で現段階において実践が難しい内容もございます。できることから進めていただけますと幸いです。

【到達目標】

命を大切にし、豊かな心を持つ児童の育成

【令和2年度重点目標】

進んで挨拶し、正しい言葉遣いができる子供

- ・進んで挨拶する児童の割合を80%以上にする。
- ・正しい言葉遣いで人と関わろうとする児童を70%以上にする。

学校で努力すること

- ・様々な教育活動の中で児童と教師、児童同士が正しい言葉遣いで関わる機会を積極的に持つ。
- ・道徳の時間や学級活動を中心に心の教育や人との関わりの充実を図る。

七郷っ子

協働
連携

支援

支援

声掛け

助言

声掛け

協働
連携

見守り

ご家庭で取り組んでほしいこと

- ・親子の挨拶、会話を大切にしてください。
- ・親子で地域の行事に参加し、地域の方々と関わる機会を積極的に作ってください。

連携
協働

地域の皆様をお願いしたいこと

- ・挨拶を通して顔の見える関係づくりを進めて下さい。
- ・自主的な挨拶の様子が見られた児童をほめて下さい。
- ・来校する機会（学校行事・ボランティア等）を見つけ、児童と接する機会を持って下さい。